

2023年度 第4四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概要>

- 全体として今期の実績は悪化の傾向。ただし、先行きを示す「受注見通し」のDI値は若干改善傾向となった。半導体市場を中心に、依然として市況は奮わないものの先行きに好転の期待を持つ企業が多い。

<概況>

- 受注量 : 業況判断DIは▲32.6となり、前期のDI値▲20.8と比べ11.8ポイントの大幅減少となった。
- 受注見通し : 業況判断DIは▲14.3となり、前期のDI値▲16.1と比べ1.8ポイント上昇し、若干の改善が見られた。
- 受注単価 : 業況判断DIは5.7となり、前期のDI値4.7と比べ1.0ポイント増加と、「上昇」と回答した企業の割合が若干増加した。
- 資金繰り : 業況判断DIは▲12.2となり、前期のDI値▲16.5と比べ4.3ポイント増加し、「好転」と回答した企業の割合が若干増加した。
- 採算状況 : 業況判断DIは▲8.5となり、前期のDI値▲0.4と比べ8.1ポイント減少し、悪化傾向が見られた。
- 受注余力 : 業況判断DIは44.8となり、前期のDI値42.4と比べ2.4ポイント増加となり、若干悪化傾向が見られた。
※「受注余力あり」が増加＝マイナス傾向

<分析>

- 調査対象企業のうち20社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。
- 受注については悪化を示す結果となっており、日本の輸出相手国上位である中国の経済減速や部品・原材料の調達難、需要先の在庫調整により業界を問わず厳しい状況が伺える。しかし、半導体分野を中心に年後半から回復するのではないかとという声もあり、先行きについては好転が期待されている。
- コスト関係については、円安やエネルギー及び原材料価格の高騰が依然高止まり水準にあり利益が圧迫される状況にある。原価の上昇に対し、中小企業も価格転嫁を進めているものの希望水準まで上げられていないという声も多い。特に原材料高への価格転嫁は認められるもののエネルギーコスト及び労務費の上昇分が認められないといったケースや、受注減への懸念から値上げに踏み切れないといった企業の声が多く聞かれた。
- 人材確保については、新規募集をしているものの確保出来ず、マンパワー不足や後継者不在に悩む声が多く聞かれた。特に北部地域で顕著であり、これまで毎年新卒採用を行ってきたような企業においても採用枠に対し半数以下の応募しか来ないという声もあった。
- 自動車部品メーカー業界では、EV化の進行に伴い、特にエンジン関係に関わる企業が厳しい局面に立たされている。エンジン関係の下請企業側においては、需要先細りが目に見えているため自動車向けに対する売上依存率を減少させようとする動きがあり、発注側でも受注減に加え外注加工がしづらい事象が発生している。
- ダイハツ問題については、府内の数社から影響ありとの回答があり、出荷停止は段階的に解除されているものの、依存度の高い企業では売上大幅ダウンとなっており、依然厳しい状況は続いているとされる。

(注) 本報告書で使用するDIとは「ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index)」の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2024年1月～2024年3月
(2024年3月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 246社 (回答率 82.0%)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2024年3月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

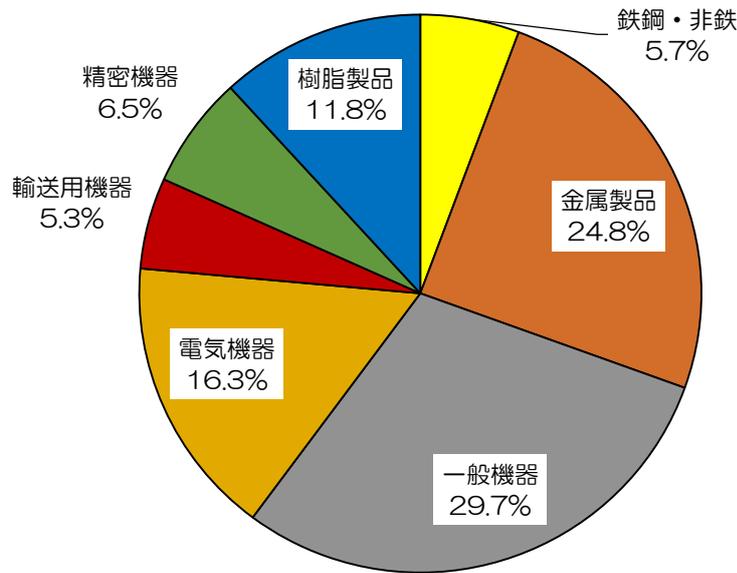
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	246社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	14社	(5.7%)	
金属製品関係	61社	(24.8%)	
一般機器関係	73社	(29.7%)	
電気機器関係	40社	(16.3%)	
輸送用機器関係	13社	(5.3%)	
精密機器関係	16社	(6.5%)	
樹脂製品関係	29社	(11.8%)	
④ 回答率	82.0%		[前回：85.0%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.6%		1 2.5%			3 10.3%
~300万円	20 8.1%		7 11.5%	2 2.7%	4 10.0%	2 15.4%	1 6.3%	4 13.8%
301~999万円	14 5.7%		3 4.9%	8 11.0%		1 7.7%		2 6.9%
1000~2000万円	130 52.8%	8 57.1%	35 57.4%	42 57.5%	20 50.0%	3 23.1%	10 62.5%	12 41.4%
2001~5000万円	57 23.2%	5 35.7%	15 24.6%	16 21.9%	10 25.0%	2 15.4%	3 18.8%	6 20.7%
5000万円超	20 8.1%	1 7.1%		5 6.8%	5 12.5%	5 38.5%	2 12.5%	2 6.9%
合 計	246 100%	14 100%	61 100%	73 100%	40 100%	13 100%	16 100%	29 100%

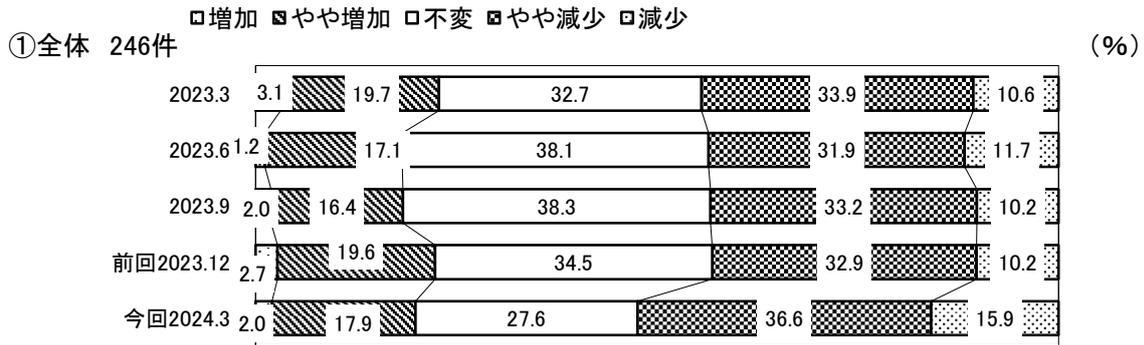
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

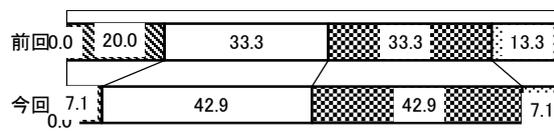
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	17 6.9%	1 7.1%	3 4.9%	7 9.6%	3 7.5%			3 10.3%
6~10人	27 11.0%	1 7.1%	4 6.6%	10 13.7%	4 10.0%	2 15.4%	3 18.8%	3 10.3%
11~20人	66 26.8%	2 14.3%	15 24.6%	22 30.1%	11 27.5%	2 15.4%	5 31.3%	9 31.0%
21~30人	38 15.4%	3 21.4%	17 27.9%	12 16.4%	2 5.0%	1 7.7%	1 6.3%	2 6.9%
31~50人	39 15.9%	5 35.7%	10 16.4%	10 13.7%	7 17.5%	2 15.4%	2 12.5%	3 10.3%
51人以上	59 24.0%	2 14.3%	12 19.7%	12 16.4%	13 32.5%	6 46.2%	5 31.3%	9 31.0%
合 計	246 100%	14 100%	61 100%	73 100%	40 100%	13 100%	16 100%	29 100%

3. 調査結果

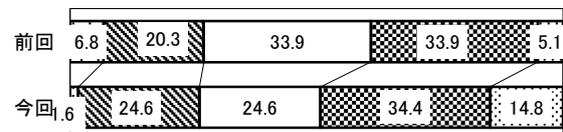
(1) 受注量について



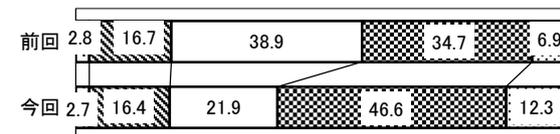
②鉄鋼・非鉄 14件



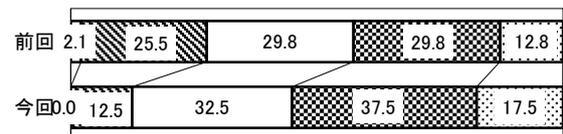
③金属製品 61件



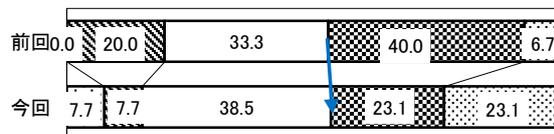
④一般機器 73件



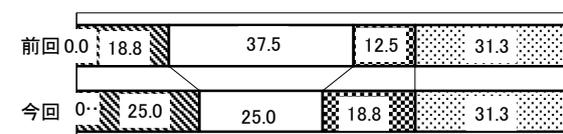
⑤電気機器 40件



⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 29件



○全体

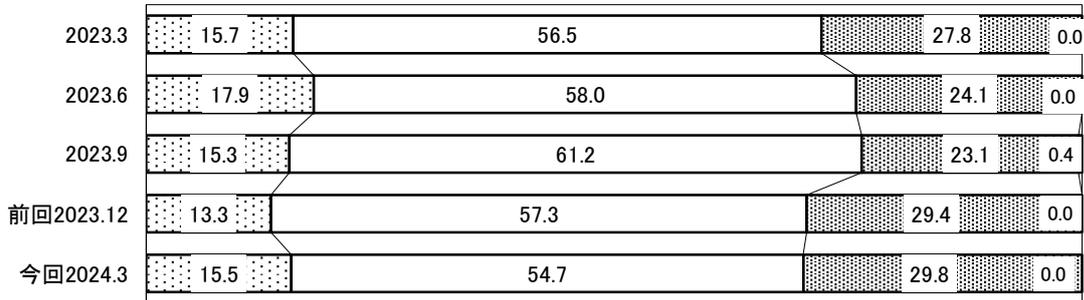
- ・1月～3月期の受注量の業況判断DI（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲32.6となり、前期（10月～12月期）のDI値▲20.8と比べ11.8ポイント減少と、前回調査時から大きく減少した。

○業種別

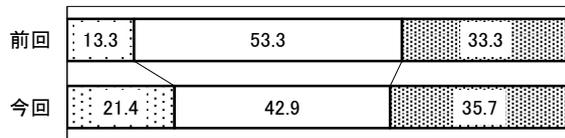
- ・DI値は、樹脂製品（▲20.7）、金属製品（▲23.0）、精密機器（▲25.1）、輸送用機器（▲30.8ポイント）、一般機器（▲39.8）、電気機器（▲42.5）、鉄鋼・非鉄（▲42.9）の7業種全てでマイナスとなった。
- ・DI値を前回と比較すると、樹脂製品（14.8ポイント）の1業種で上昇。精密機器（▲0.1ポイント）、輸送用機器（▲4.1ポイント）、金属製品（▲11.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲16.3ポイント）、一般機器（▲17.7ポイント）、電気機器（▲27.5ポイント）の6業種で低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

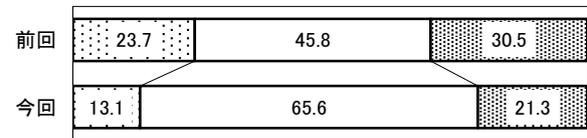
①全体 245件 □増加 □不変 □減少 □不明 (%)



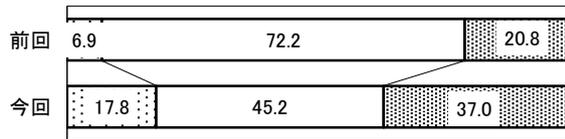
②鉄鋼・非鉄 14件



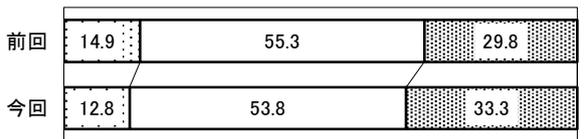
③金属製品 61件



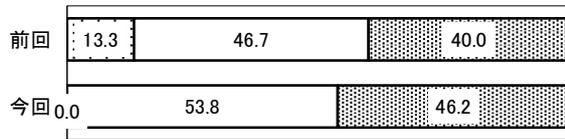
④一般機器 73件



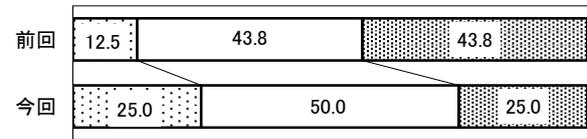
⑤電気機器 39件



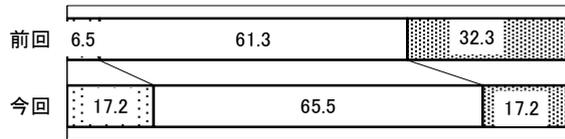
⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 29件



○全体

- 次期 (4月~6月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は▲14.3となり、前期 (1月~3月期) 調査時のD I値▲16.1と比べ1.8ポイント上昇し、前回と比較し若干の改善が見られた。

○業種別

- D I値は、金属製品 (▲8.2)、鉄鋼・非鉄 (▲14.3)、一般機器 (▲19.2)、電気機器 (▲20.5)、輸送用機器 (▲46.2) の5業種でマイナスとなり、精密機器、樹脂製品の2業種で±0となった。

- D I値を前回と比較すると、精密機器 (31.3ポイント)、樹脂製品 (25.8ポイント)、鉄鋼・非鉄 (5.7ポイント) の3業種で上昇。金属製品 (▲1.4ポイント)、一般機器 (▲5.3ポイント)、電気機器 (▲5.6ポイント)、輸送用機器 (▲19.5ポイント) の4業種で低下となった。

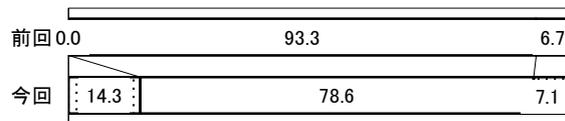
(3) 受注単価について

(%)

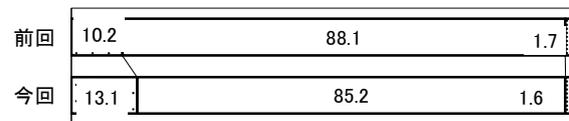
①全体 245件



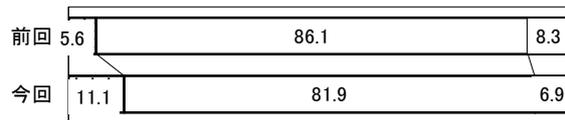
②鉄鋼・非鉄 14件



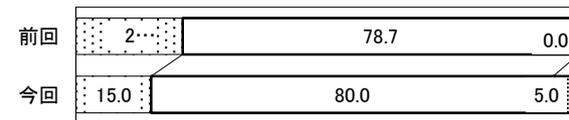
③金属製品 61件



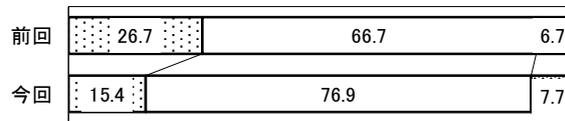
④一般機器 72件



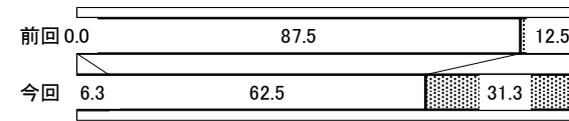
⑤電気機器 40件



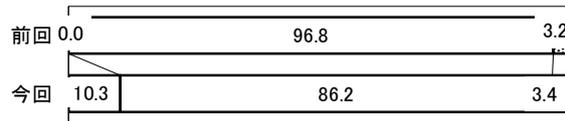
⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 29件



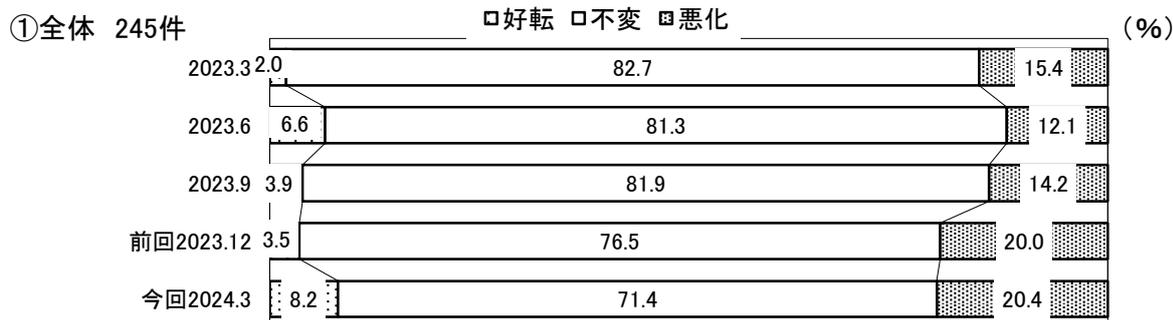
○全体

- ・1月～3月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は5.7となり、前期（10月～12月期）のD I値4.7と比べて1.0ポイント増加と、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が若干増加した。

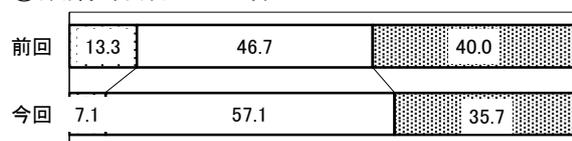
○業種別

- ・D I値は、金属製品（11.5）、電気機器（10.0）、輸送用機器（7.7）、鉄鋼・非鉄（7.2）、樹脂製品（6.9）、一般機器（4.2）の6業種でプラスとなり、精密機器（▲25.0）の1業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（13.9ポイント）、樹脂製品（10.1ポイント）、一般機器（6.9ポイント）、金属製品（3.0ポイント）の4業種で上昇。電気機器（▲11.3ポイント）、輸送用機器（▲12.3ポイント）、精密機器（▲12.5ポイント）の3業種で低下となった。

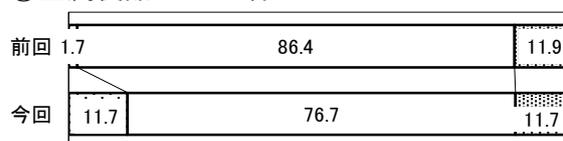
(4) 資金繰りについて



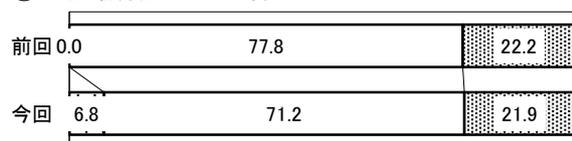
②鉄鋼・非鉄 14件



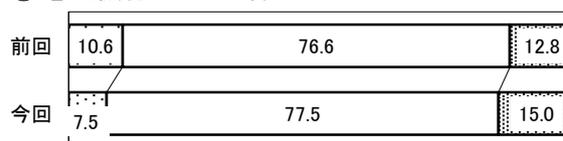
③金属製品 60件



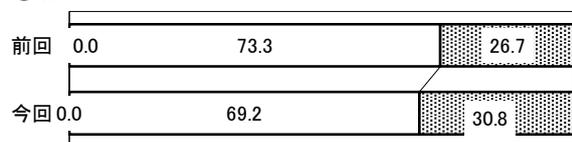
④一般機器 73件



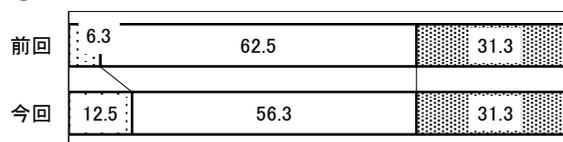
⑤電気機器 40件



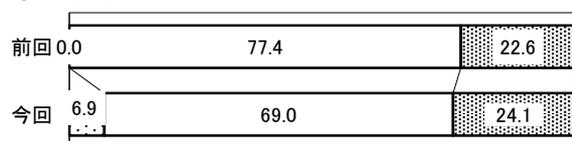
⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 29件



○全体

・1月～3月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲12.2となり、前期（10月～12月期）のD I値▲16.5と比べて4.3ポイント増加と、前回調査時から「好転」と回答した企業の割合が若干増加した。

○業種別

・D I値は、電気機器（▲7.5）、一般機器（▲15.1）、樹脂製品（▲17.2）、精密機器（▲18.8）、鉄鋼・非鉄（▲28.6）、輸送用機器（▲30.8）の6業種でマイナスとなり、金属製品の1業種のみ±0となった。

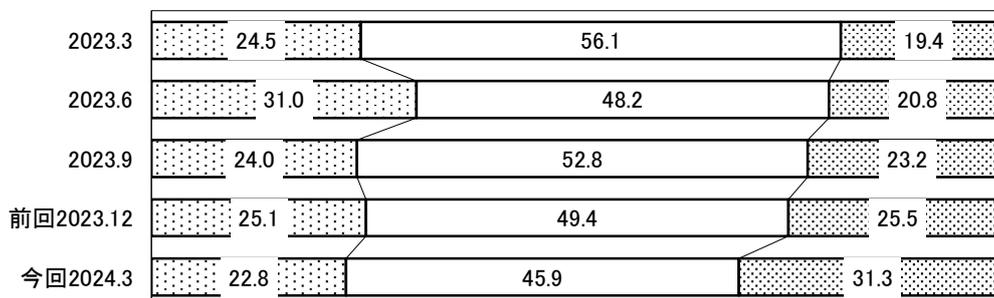
・D I値を前回と比較すると、金属製品（10.2ポイント）、一般機器（7.1ポイント）、精密機器（6.2ポイント）、樹脂製品（5.4ポイント）の4業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄（▲1.9ポイント）、輸送用機器（▲4.1ポイント）、電気機器（▲5.3ポイント）の3業種でマイナスとなった。

(5) 採算状況について

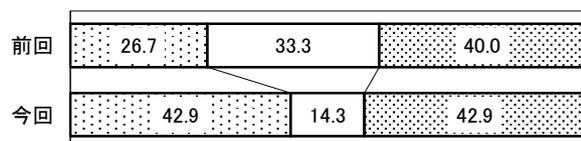
①全体 246件

□黒字 □収支トントン □赤字

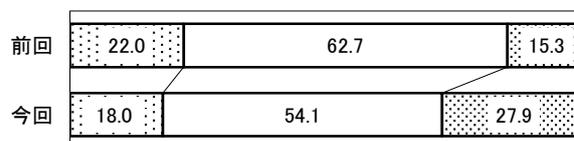
(%)



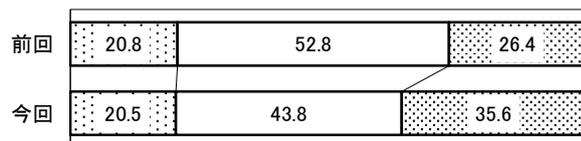
②鉄鋼・非鉄 14件



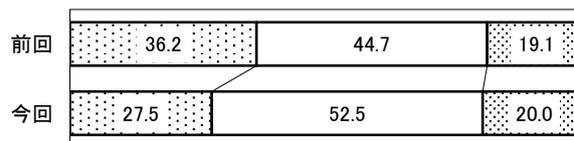
③金属製品 61件



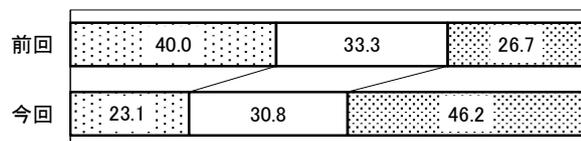
④一般機器 73件



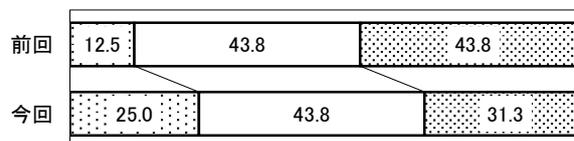
⑤電気機器 40件



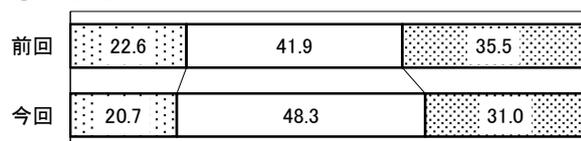
⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 29件



○全体

・1月～3月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲8.5となり、前期（10月～12月期）のD I値▲0.4と比べ8.1ポイント減少、前回調査時から悪化傾向が見られた。

○業種別

・D I値は、電気機器（7.5）の1業種でプラスとなり、精密機器（▲6.3）、金属製品（▲9.9）、樹脂製品（▲10.3）、一般機器（▲15.1）、輸送用機器（▲23.1）の5業種でマイナスとなった。鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となった。

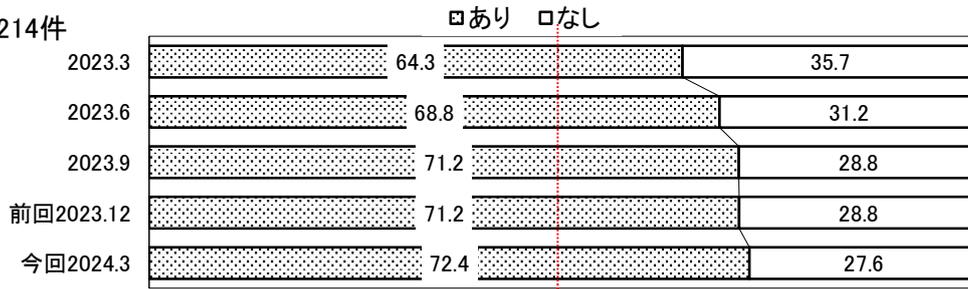
・D I値を前回と比較すると、精密機器（25.0ポイント）、鉄鋼・非鉄（13.3ポイント）、樹脂製品（2.6ポイント）の3業種で上昇。

一般機器（▲9.5ポイント）、電気機器（▲9.6ポイント）、金属製品（▲16.6ポイント）、輸送用機器（▲36.4ポイント）の4業種で低下となった。

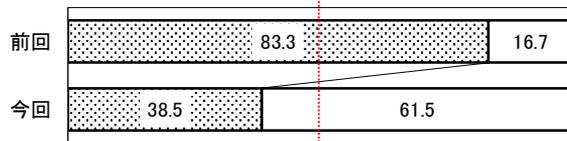
(6) 受注余力について

(%)

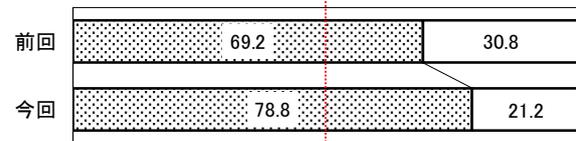
①全体 214件



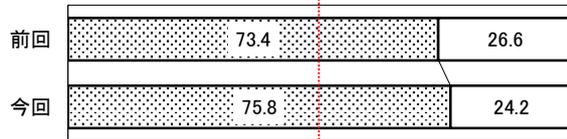
②鉄鋼・非鉄 13件



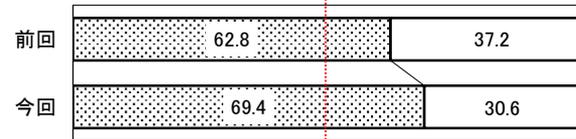
③金属製品 52件



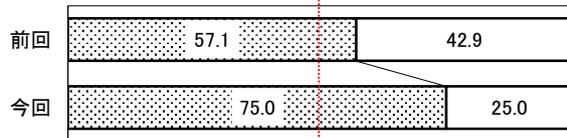
④一般機器 62件



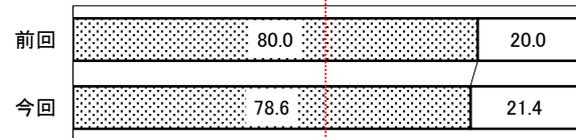
⑤電気機器 36件



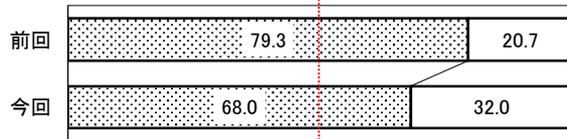
⑥輸送用機器 12件



⑦精密機器 14件



⑧樹脂製品 25件



○全体

- ・1月～3月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は44.8となり、前期（10月～12月期）のD I値42.4から2.4ポイント増加となった。
- ・1月～3月期は「受注余力あり」とする企業が72.4%と、前期より1.2ポイント増加となった。（受注余力あり」の割合が増加した＝マイナス傾向）

○業種別

- ・D I値は、金属製品（57.6）、精密機器（57.2）、一般機器（51.6）、輸送用機器（50.0）、電気機器（38.8）、樹脂製品（36.0）の6業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄（▲23.0）の1業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（35.8ポイント）、金属製品（19.2ポイント）、電気機器（13.2ポイント）、一般機器（4.8ポイント）の4業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。精密機器（▲2.8ポイント）、樹脂製品（▲22.6ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲89.6ポイント）の3業種で前回比マイナスとなり「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp